

平成26年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	総合医療センター（事務部）	課等名	経営企画課	記入者名	新森 章悟	内線	1230
事務事業名	医師修学資金貸与事業		事業期間	平成 21 年度 ～ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	医療体制の充実					
	細施策	医療供給体制の充実					
根拠法令・条例、関連計画等	医師修学資金貸与条例・医師修学資金貸与条例施行規程						
予算細々目名				会計	款	項	目
医師修学資金貸付					1	4	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

将来医師としてその業務に従事しようとする者に対し、修学に要する資金を貸与することにより、市病院事業に従事する医師の確保を図り、地域医療の充実に資するため。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
H21年度から （貸付期間） 大学、大学院を卒業するまで、または臨床研修を終了するまでの間で、希望する期間 （貸付金額） 月額15万円 （償還免除） 貸与を受けた期間と同期間を医師として市病院事業に勤務すれば貸与全額を免除	（貸付期間） 大学、大学院を卒業するまで、または臨床研修を終了するまでの間で、希望する期間 （貸付金額） 月額15万円 （償還免除） 貸与を受けた期間と同期間を医師として市病院事業に勤務すれば貸与全額を免除 目標3人	H26年度事業の継続	H26年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
医学部に在籍している大学生、臨床研修医師、大学院で医師を専攻している医師のいずれかに該当する者	大学、大学院を卒業するまで、または臨床研修を終了するまでの間で、希望する期間において月額15万円を貸与する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
将来、市病院事業に医師として勤務してもらう	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	① 周知大学数	箇所	13	13	13	13	13	13		
	②									
成果指標	① 貸与者	人	0	0	0	3	3	3		
	②									

※ 活動指標…事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標…施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由 九州・中国地方の大学医学部へ周知活動を行っている。周知範囲を広げることで意図を向上させる事が考えられる。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由 大学卒業後2年以内に医師となり、かつ、貸付期間と同期間、病院事業に医師として勤務してもらう制度であり、将来の医師確保策であることから、将来への影響はあると考える。
	<input type="checkbox"/> ない	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 医師確保活動は一定の成果が出るまでは時間を要する。貸与金額、期間等を減らしてコストを削減すれば、関心度が低くなり、医師確保に支障を来すものと思われる。
効率性	<input type="checkbox"/> ある	
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか (市以外の取組含む)	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 他の貸与等の制度とは対象等、内容が異なる。
	<input type="checkbox"/> ある	
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか (受益者負担がある場合に記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由 勤務実績に応じて貸付金の償還を免除するものであり、病院側への寄与によって免除するものである。【免除要件】被貸与者が、大学卒業後2年以内に医師となり、かつ、当病院事業の医師として通算して在職した期間が修学資金の貸与を受けた期間に達したとき。
その他	<input type="checkbox"/> いいえ	
	他の市町村では実施している事業ですか (県内の他市の状況等を具体的に記入してください)	
その他	鹿児島県：医師修学資金（へき地医療基幹の医師確保）	
	薩摩川内市：医療福祉従事者奨学資金貸与制度（甕島地域の医療従事者確保）	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	医師を目指す学生等にとって修学資金は魅力のある制度であり、また、医師確保につながる重要な制度であるが、今後は周知の範囲及び周知方法を見直し、継続して取り組む必要があると思われる。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。